



「水防災教育 学生サポーター制度」では、教員志望の大学生が、教員に代わって水防災教育の授業を行います。大学生は「教育現場を経験すること」ができ、教員は「水防災教育授業を行う負担を軽減すること」ができます。学校水防災教育を通して、地域全体の水防災意識の向上を目指します。



静大生による授業の様子



マイタイムラインの作成



教授から講師にアドバイス

静岡市の駿河総合高校において、静岡大学の学生が講師となり授業を行いました。当日は講師の大学生以外にも、大学教授や大学院生も参加し、授業の進め方についてアドバイスする姿も見られました。駿河総合高校では有志の生徒たちが、後日、支援学校の生徒さんに水防災授業を実施します。さらなる水防災意識社会の構築が期待できます。